

ヤスデとは!?

実は益虫なんです

ヤスデは雑木林や畑などの土中に生息し、おもに**落ち葉や枯れ草**、菌類、きのこなど植物性のものを食べています。またその糞は有機物に富み、植物の栄養源になります。さらに、自分の糞中の未消化の落ち葉などを二度喰いしますので、植物は完全に分解され、土中の微生物の育成にも貢献しているのです。自然界では分解者として、良質な森づくりには欠かせない存在です。

自然豊かで環境の良い伊東市でも地域によりしばしば集団で確認されます。

そうはいつでも気持ち悪い…

気持ち悪い見た目の上大量発生し、また臭腺から臭い匂いの体液を分泌するため不快害虫として問題となることがあります。この臭いの体液は、ヨードやキノンなどのシアンを含んでいるため、誤って口に入ると危険です。

つぶしたり、バーナーで焼いたりしないで！
ヤスデはほうきで掃いて、袋に入れてもえるごみ



4月～6月に大量発生するの？

8～10月の間に産卵し、それらが10月下旬頃に孵化したあと、ちょうど梅雨の時期である6月に成虫になります。一度に150～300個も産卵するといわれています。

【大量発生のスケジュール】

梅雨(6月)…大量発生

(成虫になった大量のヤスデが、大雨で地表に出てくる)

梅雨明け(7月～)…姿を見なくなる

(雨が落ち着き、再び土の中や枯れ葉の下に潜る)

秋雨(9月～10月)…また大量発生

冬(11月～)…姿を見なくなる

(脱皮をくり返し越冬)

雨上がりに発生する理由は…

一説によると「水に弱いから、地中にとどまったままだと溺れてしまうので地表に出てくるのではないか」といわれています。

梅雨などの時期に長雨が降ると、土の中だけでなく土の表面にまで水が溜まるようになります。するとヤスデは「水に溺れないように」あわててブロック塀に群がったり、壁をよじ登って室内に侵入するというのです。

家屋への浸入予防方法(ノックダウンダスターの撒き方)

周囲の山や畑など範囲が不特定・広範囲になると完全に駆除するのは**困難**です。そのため、ヤスデなどの歩行性害虫の対策は**侵入させない**ことになります。

ヤスデが侵入しやすい「窓のすき間やレール部分」「庭に面した出入口」「縁台の下」などに、あらかじめ粉状の殺虫剤をまいておきます。ただし風雨で飛ばされやすいので、**定期的**にまく**必要**があります。

もう大量発生させない、対策について

庭の土に“水たまり”ができる状態になると、ヤスデが家の中に入ってくる傾向があるようです。

また、前述にもあるとおり、ヤスデは、落ち葉や枯草・枯れ木を食べます。家屋周辺にある雑草は除草し、廃材・がれきなど不要な物は処理、落ち葉を捨てるなどの清掃を行い、**生息しにくい(潜みにくい)環境**にします。

★環境課で配布しておりますノックダウンダスター(ヤスデ専用駆除剤)は**数に限りがあります**。最近、伊東市内でも多数の発生情報が寄せられており**在庫が不足**している状況です。多くの皆さんに利用してもらえよう、**対策等のご協力**をお願いいたします。